

# データ利活用によるまちなかのにぎわい創出事業【概要】

## (1) 課題

- 令和5年度に実施した「都市OS（データ連携基盤）の導入に向けた調査」において、駐車場の満空情報など、**市民・来訪者の利便性向上につながる情報の発信ができていない**という課題が挙げられた。
- まちなかにおける既存のデータ資源として、市内企業と大学によって構成された組織である株式会社TSPが取得・保有している人流データのほか、市が保有するイベント情報等のオープンデータがあるが、それぞれ独立して情報発信を行っているため、**イベント情報とまちなかの混雑度を一元的に確認することや、相互の関係性を把握することができていない**。
- また、令和9年度には多目的屋内施設の完成が予定されており、来場者の多くがまちなかの駐車場を利用することが想定されるため、**駐車場の満空情報をリアルタイムにWEB上で発信できる仕組みを検証**する必要がある。

## (2) 取組内容

- ①**駐車場の満空情報発信**…満空情報をカメラで取得し情報発信するための、データ変換と蓄積
- ②**イベント情報と人流データの紐づけ**…イベント情報と人流データの連携
- ③**PoCデータ連携基盤の利用**…満空情報とイベント情報、人流データを一元的に発信するためのデータ連携基盤の活用
- ④**定量・定性的なデータの分析**…本事業にて得られたデータおよび既存のデータの分析による新たな人の流れづくり
- ⑤**まちなかイベントとの連携**…まちなかで実施するイベントと連携してアンケート調査を実施し、今後の事業立案に役立てる

## (3) コンソーシアム構成団体について

### (1) コンソーシアム体制

- 豊橋市
- 株式会社TSP (Toyohashi Smartcity Project)  
(株式会社プライズメント、株式会社ウェブインパクト、株式会社OA推進センター、豊橋技術科学大学)

### (2) その他関係機関

- 豊橋駐車場・豊橋まちなか活性化センター共同企業体
- 豊橋まちなか活性化センター

## (4) 情報発信イメージ



地図上に駐車場満空情報を表示し（左図、みてみりん地図）、あわせてイベント情報（中央、みてみりんイベント情報集約ページ）や人流データ（右図、まちなか情報ステーション）の情報も掲載。一元的に情報を発信する。

## (5) 将来性・横展開の可能性

- ① 本モデル事業対象の公共駐車場以外の民間駐車場を含む、まちなかエリアの駐車場への満空情報等発信の取組拡大を検討する。また店舗情報や交通情報などの情報掲載も併せて検討し、市民や来訪者の利便性向上、まちのにぎわい創出につなげる。
- ② 大規模なシステム改修以外の安価なデータ取得・情報発信の手法を提示することで、地域における一体的な情報発信につなげる。